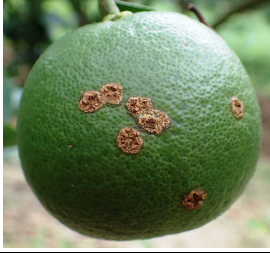
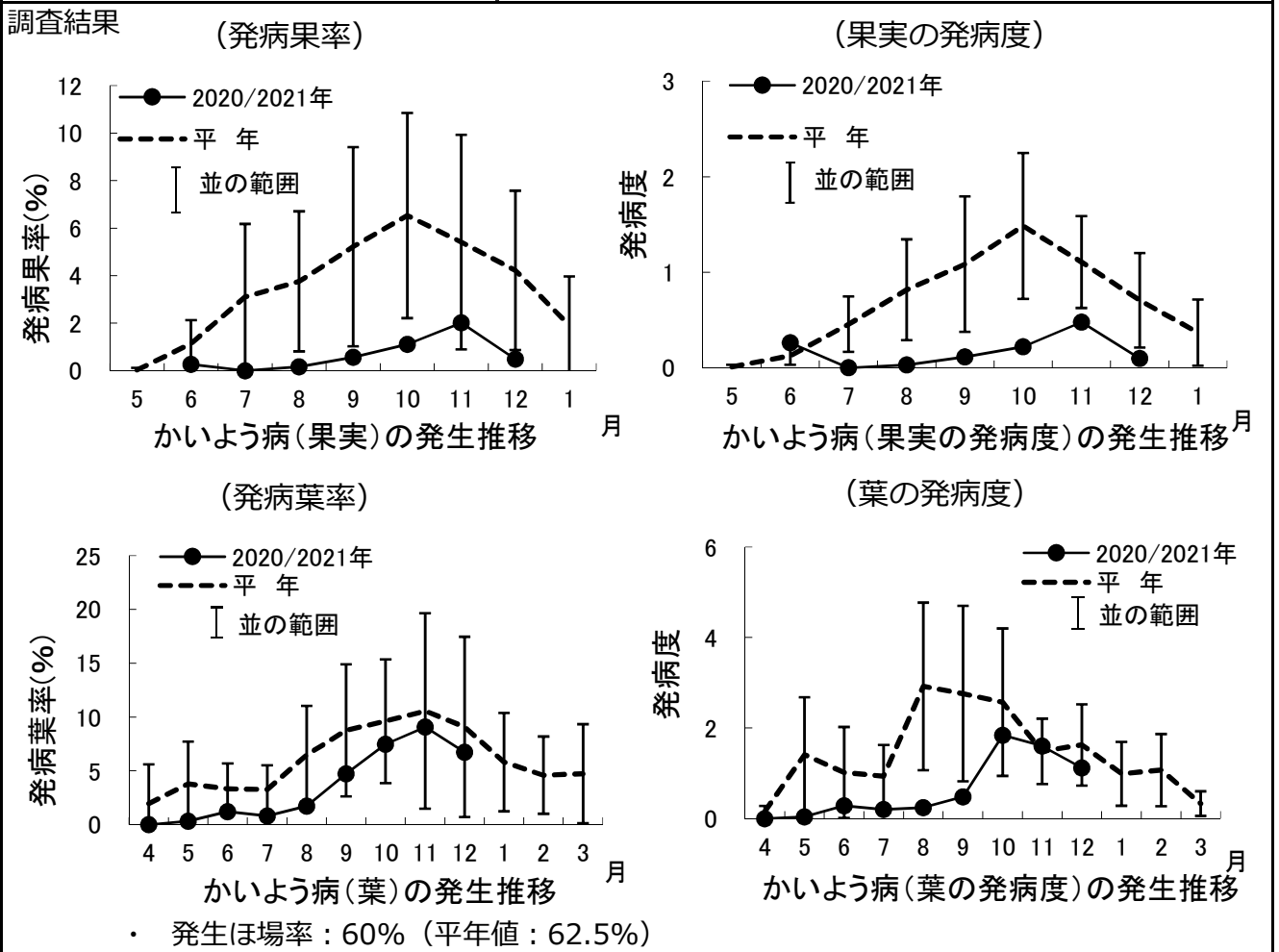



作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	↘	
	1 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	




防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は次期作の伝染源になるので除去する。

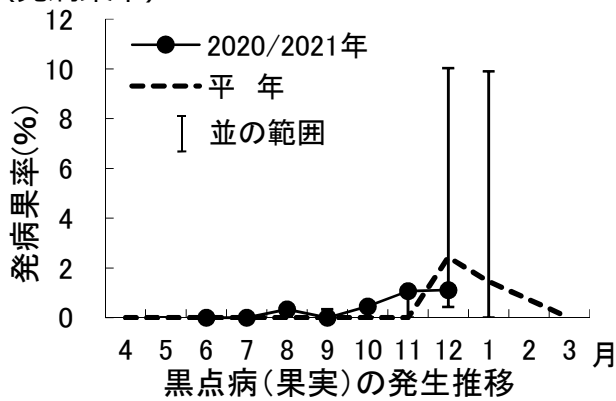


被害葉→

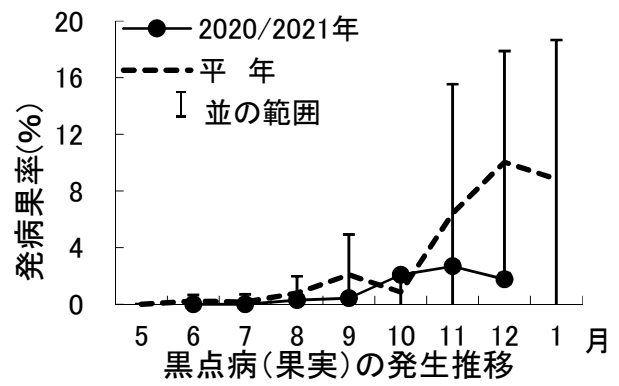
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
調査結果	12 月の発生量 (平年比)	並	
予報	12 月からの増減傾向	↓	
		1 月の発生量 (平年比)	並
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↓)	

調査結果

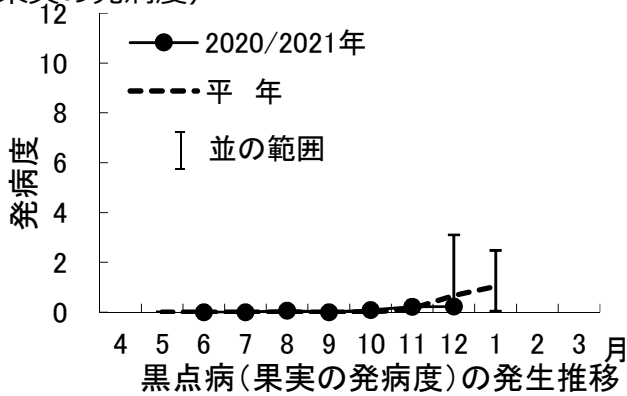
(発病果率) <中央値>



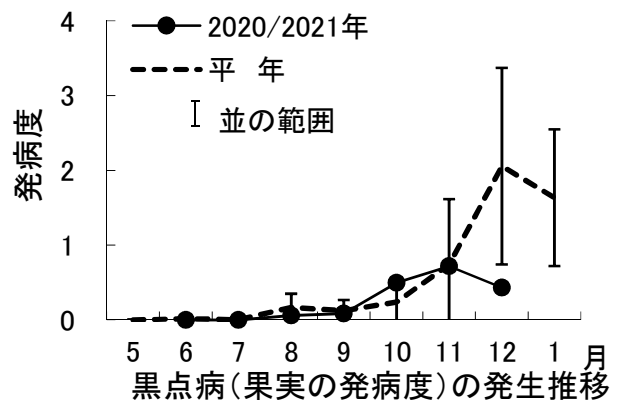
(平均値)



(果実の発病度) <中央値>




(平均値)



・ 発生ほ場率：60% (平年値：75%)

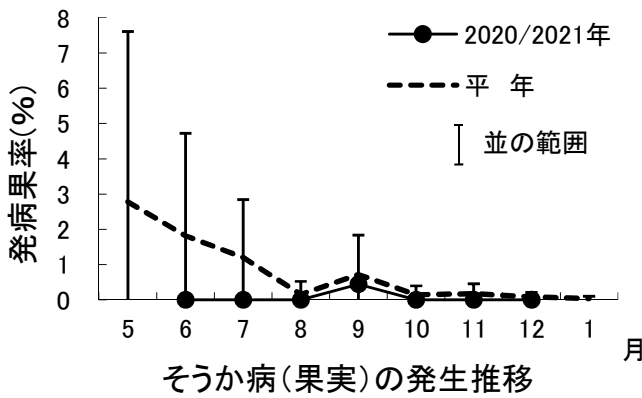
防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

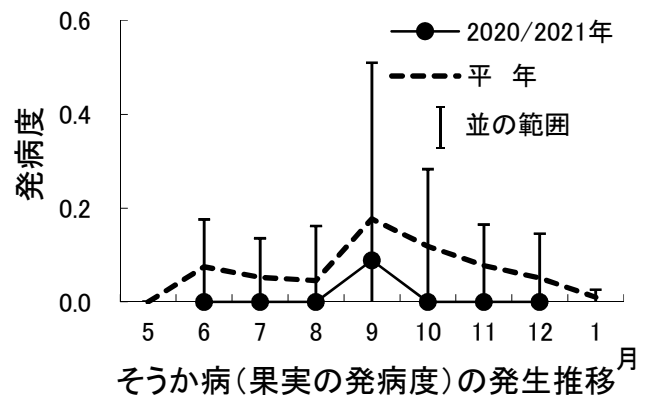
作物	かんきつ（タンカン）		地域	沖縄群島
病害虫名	そうか病			
調査結果	12 月の発生量（平年比）	(発生なし)並		
予報	12 月からの増減傾向	→		
		1 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

調査結果

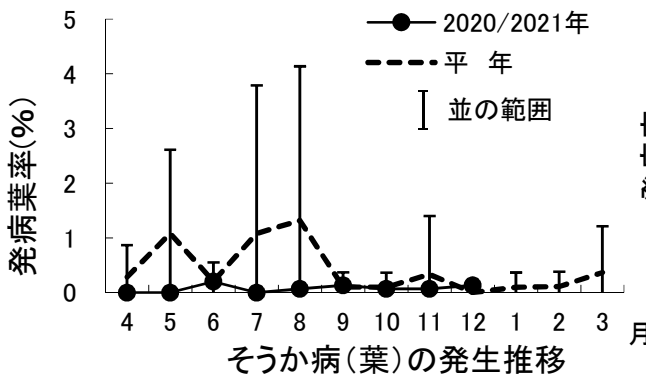
(発病果率)



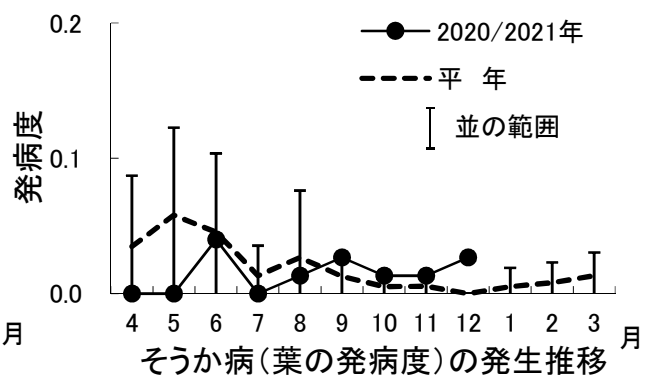
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)




防除のポイント

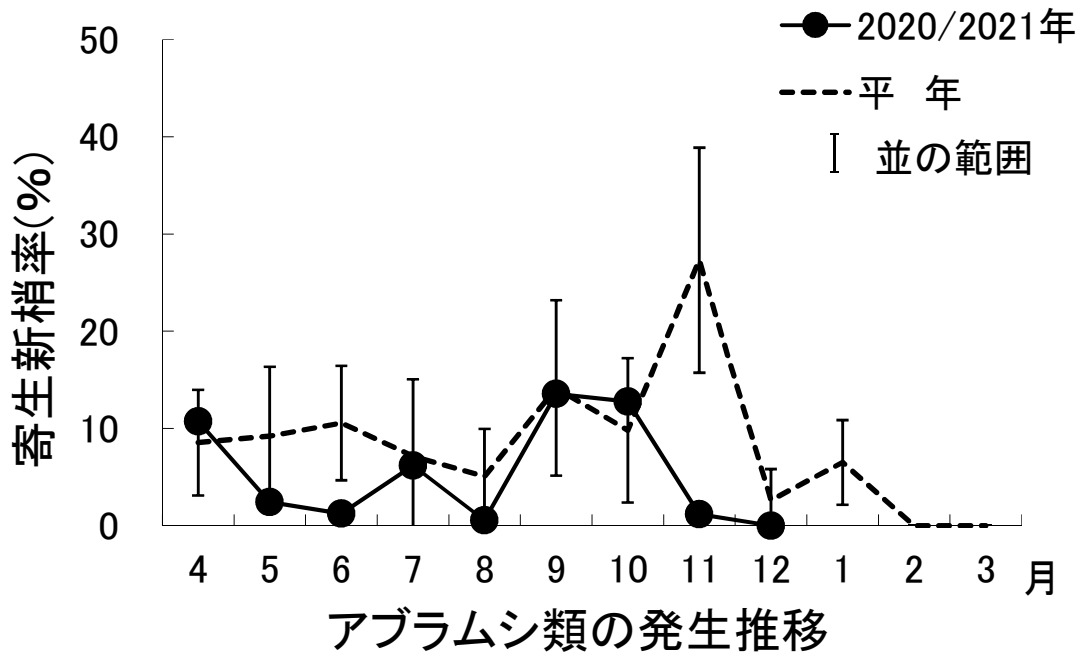
- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害葉→



作物	かんきつ（タンカン）		地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類			
調査結果	12 月の発生量（平年比）	(発生なし)並		
予報	12 月からの増減傾向	↗		
	1 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（↗）		

調査結果




・ 発生ほ場率 : 0% (平年値 : 18.2%)

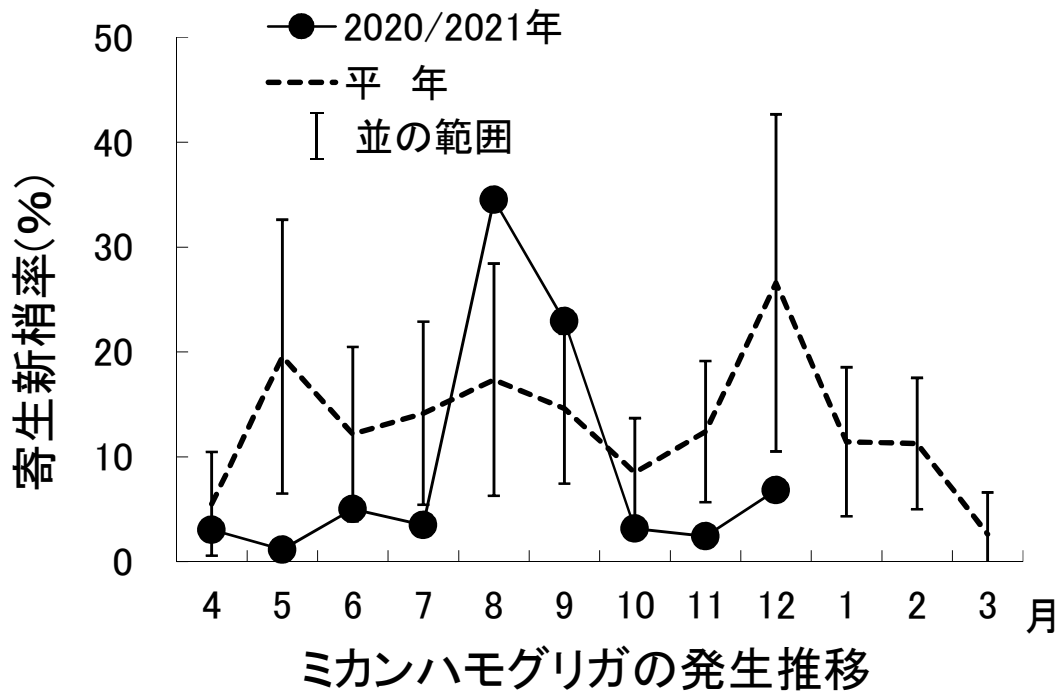
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ ミカンハモグリガ		
調査結果	12 月の発生量（平年比）	やや少	
予報	12 月からの増減傾向	↓	
	1 月の発生量（平年比）	やや少	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	


調査結果



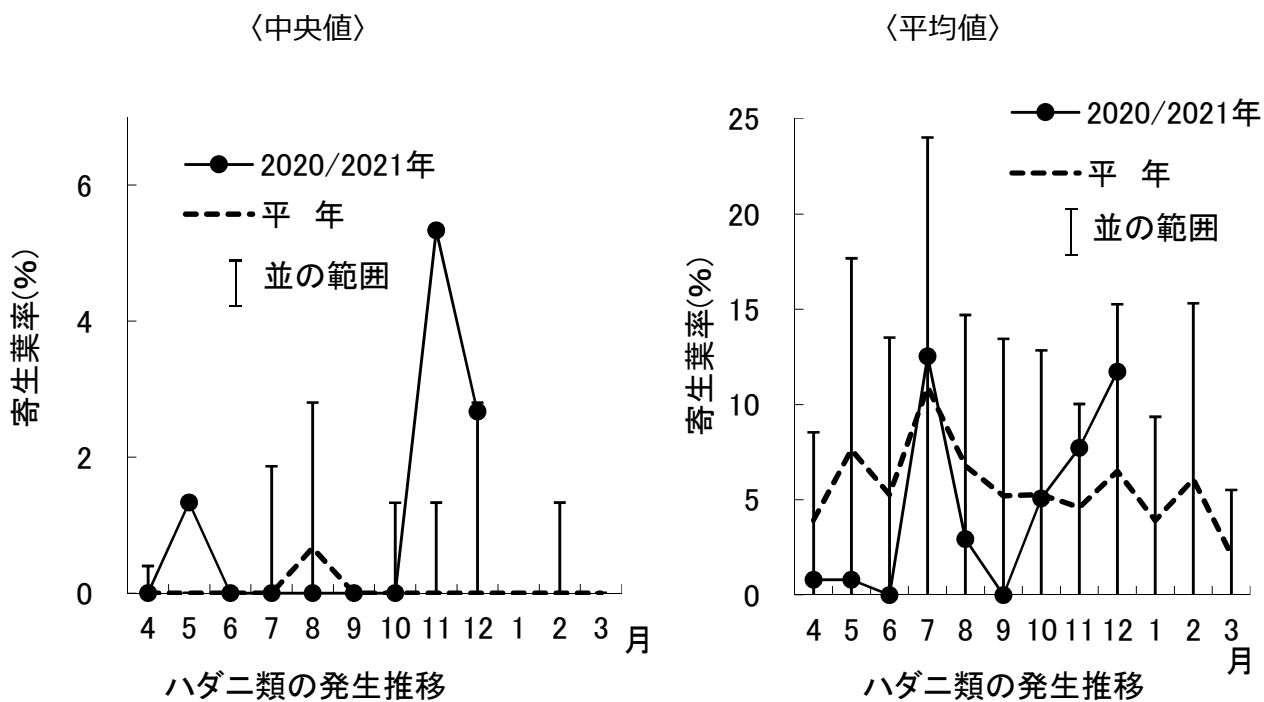
・ 発生ほ場率：25%（平年値：70.6%）

防除のポイント

- ・ 被害葉にかいよう病が発生しやすく、次期作の伝染源になるので除去に努める。
- ・ 被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ（タンカン）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
調査結果	12 月の発生量（平年比）	並	
予報	12 月からの増減傾向	↘	
	1 月の発生量（平年比）	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移（↓）	

調査結果



・ 発生ほ場率：60%（平年値：33.3%）

防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状